

株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

ITS more

2020年8月1日 投稿者: SATOXITS

Parallels Desktop祭り

基盤：それで Parallels Desktop ですが、どうでしょう。

開発：試用版で色々やってみて、機能性能的に問題なく使えることはわかりました。使いやすい見た目も、この動作状況のインジケータとかなかなかかわいい。Hyper/Vには無い楽しさです。Mac上で動かすVMサーバとしてはベストのソリューションかも知れません。

基盤：私はこの、Parallels用のUbuntuパッケージの詰め合わせというかセンスが、なんだか好きですね。Parallels用にちゃんと設計されている感じもしますし。あと、`/bin/sh -> /bin/dash` になってるところが面白いというか、一事が万事的な感じがします。

経理：アース渦巻第4巻に点火しました。ちょっと飽きたので、今度金鳥も試みましょう。

基盤：それで、選択肢は3つ。スタンダードは1万円で買い切り永久使用できますが、ゲストVMあたりRAM 8GB、4CPUという制約があります。6コアと16GBを持ってるホストの能力をフルに活かすには、4CPUはちょっと残念なところですよ。

経理：そういうエディション設計ですねw

基盤：それと、このツールの元気さだと、今後の向上が期待できるのでは無いかと思えますので、最新版が使えるサブスクリプションのほうが良いかと思われれます。1万円/年です。

Parallels Desktop 15 for Mac

エディションの比較

Feature	Standard Edition	Pro Edition	Business Edition
オンラインで Windows 10 をダウンロードしてインストール	✓	✓	✓
macOS Catalina (19.18) に最適化済み	✓	✓	✓
既定して最新バージョンにアップグレードする	✓	✓	✓
Windows アプリケーションの Touch Bar のカスタマイズ	✓	✓	✓
VM 当たりの仮想 RAM	8GB vRAM	12GB vRAM	12GB vRAM
VM 当たりの仮想 CPU	4 vCPU	32 vCPU	32 vCPU
Chat/Chat/Device/Vagrant などの統合		✓	✓
ネットワーク接続で遠隔モニタリングしてテスト		✓	✓
Visual Studio プラグイン		✓	✓
メニューからデバッグ、監視マシンのダンプ、SSH セッション		✓	✓
ビデオスクリーンキャストのサポート		✓	✓
24 時間年中無休の電話およびメールでのプレミアムサポート	30 日	✓	✓
一括された管理および制御			✓
一部国別に対応する Unified Volume ライセンスキー			✓

社長：では、Proをサブスクライブしましょう。

基盤：なんか安売りクーポンとか乱発してるみたいですが…

Parallels 日本円 日本語

商品名	単価	数量	価格
Parallels Desktop for Mac Pro Edition (1 年間) Mac で Windows を実行！ この商品は毎年、料金として ¥9,818 をお支払いいただく定期購入商品です。お申し込みいただいた定期購入はいつでもキャンセルできます。	¥9,818	1	¥9,818 (1年ごとのご請求金額)
Parallels Toolbox (無償で同梱) macOS および Windows 向けに 30 以上のツールが同梱されたオールインワンのソリューションです。			¥0 ¥2,299
Parallels Access (無償で同梱) すべてのデスクトップアプリケーションがモバイルデバイスのアプリのように使えます。			¥0 ¥2,000

チェックを入れるとクーポンコード入力欄が表示されます。
 クーポンコード

割引金額: ¥4,299
合計金額: ¥9,818
消費税 ¥993 (¥9,825 の 10%) が含まれています。

経理：ネットで検索しても、どのクーポンが、現在これに使えるのかさっぱりわかりません。このサイトから行ってみます… 1000円お得。



基盤：Toolbox と Access が消えちゃってるのがなんか嫌ですね。

開発：毎年30%オフとかならずごいですが、クーポンで初年度だけですよね。

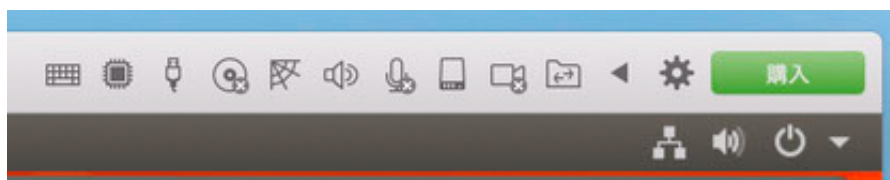
基盤：毎年新規にサブスクライブするとか。

開発：こういう怪しげなキャンペーンとかクーポンとかやめたほうがいいんじゃないですかね。製品と会社のイメージを落とします。

社長：Microsoftも当初は、WindowsNTキャンペーンのタダ版CDを垂れ流ししてましたけどね。10枚以上は持ってましたw

社長：えーと、もうかれこれ小一時間クーポンを探していますが、この労力によって最低賃金の時給1時間相当を得られるのか？に疑問を持ちます。我社の本来の労働単価は一桁以上違うわけです。普通に買いましょう。

経理：了解です。では、試用版のボタンから行きます。



基盤：ああ、ビジネス版には ToolBox が無償でバンドルされてなかったりするようですね。

経理：ではPro版をPaypalでぽちっ。ライセンスキー出ました。

基盤：では、表示されたライセンスキーをコピーしてぽちっと。



開発：「購入」が消えましたね (^-^)

社長：昔はこの、ライセンスキーを手入力させるソフトが多くて、さんざんつらい思いをしたものです。今で例えれば劣悪版のReCAPTCHAみたいでした。よい時代になりましたね。

* * *

基盤：おっと、MacOS も仮想マシンにできるのですね。Android仮想マシンも面白そう。

開発：Fedora とか CentOS も懐かしいのでインストールしてみますか。

社長：Ubuntuの前はもっぱらFedoraでしたね。

基盤：では片っ端からインストール…

開発：なるほどこれがAndroid OSですか。動きますね。ってこれ、ARM をエミュレーションしてるんですかね。そのせいか、非常に遅い。

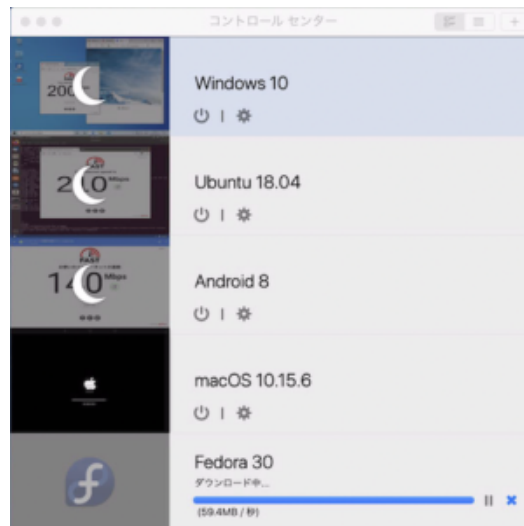
基盤：… 死にましたね。



開発：ホストのメモリが16GBでは辛いでしょうね。

基盤：16GB x 2 の追加を2万円くらいでいけます。

社長：しかし仮想マシンイメージのダウンロードにギガビットインターネットは本当にありがたいですね。



基盤：そういうわけで、MacOSのインストールにだけは1時間ばかりかかりましたが、他のOSは数分ですね。

開発：サーバ用のVMなら軽いですが、さすがにデスクトップのOSを数台同時に走らせるのは厳しいですね。CPUがほとんどシステム時間になりますし。

基盤：なにより、メモリがキツイと思います。やはり32GB増量計画ですね。

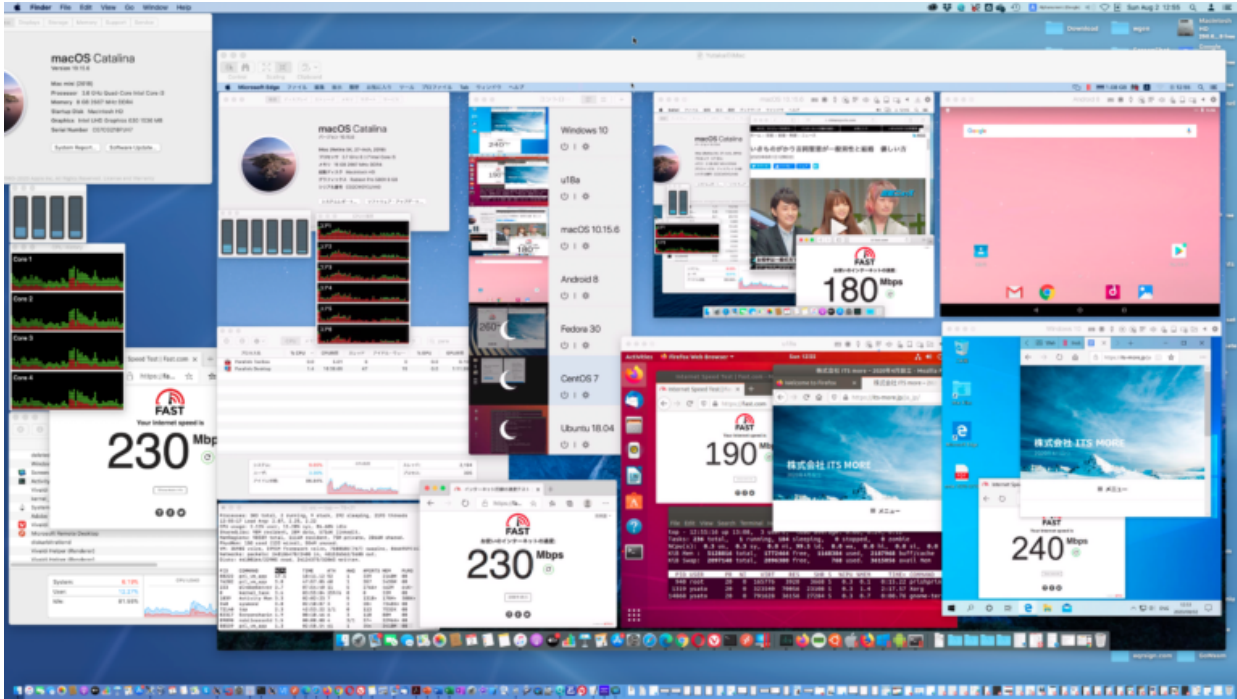
社長：10年前には各種OS各バージョンの仮想マシンを50台くらいVMwareに持ってましたが、時々クラッシュして2度と立ち上がらなくなるのが恐ろしかったものです。なのでスナップショットは欠かせなかった。昨日から見ていると、クラッシュすることはなきにしもあらずでも、ちゃんと回復しますね。これはゲストOS側の進歩もあるのかなと思います。

開発：当面はUbuntuが主要なお客さんOSだと思いますが、全然問題ないようですので、これからはParallelsですね。

基盤：Hyper/VとホストのLenovoには結構投資しましたが…

開発：まあいずれ、何か実用に生きるか、少なくとも思い出にはなるんじゃないですかね。

基盤：そうですね…。では一区切りつきましたので、記念写真をパシャ。



— 2020-0802 SatoxITS

📁 UNCATEGORIZED